

2024. 5. 28 「見て見て、ウシエイ」～一人の興味関心から～

先日、廊下を通っていると、給食後に廊下の本棚の近くで魚の図鑑を見ていた年長児の A 君に、「見て見て、ウシエイ」と声をかけられました。近くに行って図鑑を見てみると、エイのページの下の方に「ウシエイ」というエイが載っていました。私が、「黒いんだね。なんでウシエイっていうのかな」と言うと、隣で違う本を読んでいた B 君が、「この前自然センターに(サツマイモの苗を植えに)行った時に、ウシガエル見た。牛みたいに鳴くんだよ」と言ってきました。「そうなんだ」と私が言うと、A 君は、「でもエイは鳴かない」と言いました。なんでウシエイというのかは解決しません。A 君は「ウシエイ」の説明のところを見ながら、そこに書かれている「動物食」という言葉をつぶやき、「肉食だ」と言いました。この学年の子たちは、昨年度、年中さんの時に、恐竜遊びのブームがあり、肉食恐竜や草食恐竜が運動会の種目になったほど。「肉食」という言葉に敏感なのは昨年度の遊びもつながっているかもしれません。

ページをめくると、他のエイとは違うとてもきれいな色の「タイワンイトマキエイ」が載っていました。A 君が「タイワンイトマキエイ」と言うと、自分が読んでいた本をやめて一緒に魚図鑑をのぞきこみ始めた B 君が、「タイワンって中国の下にある」と言いました。「え、そうなの？」と 3 人で本棚の近くの壁に掲示してある世界地図を見に行くと、確かに中国の下に「台湾」があります。「この近くにタイワンエイは棲んでいるのかな」と地図を指さしながら話していると、近くで本を読んでいた女の子の C さんが、台湾の近くにある「インドネシア」の国を指さして、「ジャカルタ」と言いました。「え、ジャカルタって、インドネシアの大事な場所だけど、どうして知っているの？」と聞くと、家から習い事に行っている時に聞いたとのこと。A 君のエイの話から、B 君の経験、C さん知識がつながっていきます。

また図鑑のページをめくっていくと、ウツボやヘビ、ウナギのページになりました。そのページになる頃には、図鑑をのぞき込む子がもう一人増えていました。そのページを見ていた B 君がいきなり、体全体を使ったにょろにょろとした動きで、廊下を向こうの方に進み始めました。それを見た A 君も同じ動きで、にょろにょろと追いかけて行き、二人で戻ってきました。二人ともとても楽しそうです。なんでだろう、きれいだな、と心が動き、自分や他の子の知識や経験がつながり、頭だけでなく、体も自然と動き出す、他の子と一緒に心地よさを味わう。子供たちが生活や遊びを通して総合的に学んでいく幼稚園であるように、取り組み続けたいと思いました。

読書の時間が終わり保育室に戻る時間になった時、A 君から、「先生にこの図鑑貸してあげる」と言われました。私も魚図鑑を見るのが楽しくなっていて、A 君にもそれが伝わったのかもしれない。

